くらすだより

２０２１・３・31
富　岡　保　育　園
年　少　クラス
No.１２

お別れバイキング

この時期、子どもたちが楽しみにしているのがバイキング給食です。
この日、たくさんのごちそうに子どもたちは大喜び、お腹いっぱい頂きました。給食の先生方、今年も一年、おいしい給食を作って下さりありがとうございました。

今年は、例年になく桜の開花が早く満開の時期を迎え、早いもので、年少さんも終園となりました。

３月 17 日、お弁当をもって富岡城に登りました。子どもたちとお弁当を食べながら、丁度１年前の４月、お見知り遠足で富岡城でお弁当を食べた日のことを思い出しました。私も初めて子どもたちと出会い、まだ子どもたちのことが分からず「大丈夫かな？一人でちゃんと食べれるかな？」とドキドキしながら、とにかく子どもたち一人ひとりに気を使い、お弁当がのどに通らなかったのを覚えています。たぶん子どもたちも「この先生は誰だろう？清水先生はいないのかな？」なんて思いながら不安の中で食べていたんだろうなと思ったことでした。でも１年たった今、みんなで青空の下おしゃべりしながら食べたお弁当は、最高においしかったです。

先日、子どもたちの足型、手型をとりました。昨年と比べて「本当に同じ子どもなのか？」というぐらい、皆手も足もびっくりするくらい大きくなっていました。また、身長も大きい子で７，７ｃｍ、平均 6、９ｃｍも伸びていて子どもたちの成長にびっくりです。子どもたちの１年間の成長をグラフにしたものをお渡ししますので、ご覧ください。

「もうすぐ、年中さん！」とどの子も楽しみにしています。お参りの際も「やっぱり、年中さんになる人は違うね、背中がピン！としているよ」というと皆益々胸を張って「どうだ！」とばかりに座っています。（笑）

この一年間、色々なことを経験し、大きく成長した子ども達です。初めの頃は、自分の思いどおりにならないと友だちにすぐに手が出てしまい喧嘩も耐えなかったのですが、ぶつかり合いを経験しながら、相手の気持ちに気づくことができるようになり、遊びの中で自己主張をしながらも他者を受容するという社会性が確実に育ってきています。友だちとかかわることで、色々なことを学んでいるところです。また、小さな我慢を積み重ねる事で少しずつ自分で我慢する力も身についてきています。

何といっても可愛い年少さん、子どもたちのこれからの成長が楽しみです。そして一年間、保護者の皆様の温かいご支援、ご協力ありがとうございました。心から感謝申し上げます。

お別れ遠足の時の子ども達の
いいお顔をご紹介します。

育　児　の　五　則

1．他人に迷惑をかけないことを、しつけの基本とする。
　もし他人に迷惑をかけたら、そのわけをはっきり話して叱ります。
　問答無用の叱り方は効果がないばかりか反抗心を持たせます。
2．話し合いは心の栄養になる。
　子どもの話は、まずゆっくり聞いてあげます。
　ほめられたことでも、けんかしたことでも、叱られたことでも、上手に　聞き手になってください。
3．母乳と背中から愛情が伝わる。
　幼児との心のふれあいは、身体のふれあいから始まります。
　抱っこ・おんぶ・おっぱいなどにより親から子どもに直接無意識に伝わります。
4．運動と手伝いから意欲が育つ。
　木登り、縄跳び、鉄棒などがはじめてできた時の子どもの喜び、これが意欲（やる気）の大切な芽生えです。
5．友だちとの遊びから社会性が育つ。
　遊びによって、付き合い方・思いやり・悲しみ・喜び・友情が分かってきます。

高橋系吾(道灌山学園保育専門学校校長)　「子どもをのばすほめかた・しかりかた」より